

2019

国語

注 意

1. 試験時間は、8:50～9:40の**50分**です。
2. 問題は ㊦ から ㊧ まであります。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけつけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

十二月二十四日の寄宿学校。生徒から「正義先生」と呼ばれるヨハン・ベークは、舎監として寄宿舎の管理・監督を行っている。クリスマスこの時期、生徒は寮生活を送る学校を離れて親元へと帰り、家族と楽しいひと時を過ごす。待ちに待ったその日が近づき、生徒たちには落ち着きがなくなっていた。いつもと様子が違ったのは、八年生（中学二年生）のマーティンも同じ。しかし、彼は、他の生徒たちとも様子が違っていた。

少年がひとり、手すりにすわっていた。ボウリング場の木のはしらに頭をもたせかけ、雪雲がおもたれこめた空をじっと見あげている。「やあ！」と、正義先生は声をかけた。

びくっとして、おどろいた顔でふりかえたのは、マーティンだ。

マーティンが手すりから飛びおると、先生は近づいていった。

「ここでなにをしているんだい？」

「ひとりになりたくて」マーティンはこたえた。

「だったら、じゃまをしてすまなかったね。でも、きみに会えてよかった」

正義先生はそういって、マーティンにたずねた。

「ところでどうかしたかい？　きのうの授業の朗読でも、調子が悪そうだったけれど」

「べつのこと気に取られていました」マーティンは、あせって返事をした。

「そんないいわけ、わたしに通じると思うのかい？」と、正義先生。「ゆうべの劇のときだって、ちっとも身が入っていなかっただろう。ゆうべも、けさも、食堂でほとんどなにも食べていなかったし」

「そのときも、やっぱりほかのことに気を取られていたんです」

マーティンははずかしくて、消えいりたいような顔をした。

「そんなに気を取られていたことって、クリスマスのことかい？」

「はい、先生」

「でも、うれしそうには見えないな」

「とくにうれしいわけじゃありません、先生」

「それで家にはいつ帰るんだい？ 午後の汽車か？」

ふいに、この優等生の目に、大つぶの涙がふたつうかんで、こぼれおちた。それから、もうふたしづく。でも、^①マーティンがぐっと歯を食いしばると、それ以上はこぼれ落ちなかった。そうしてマーティンは、やっと口をひらいた。

「家には帰らないんです、先生」

「なんだって？ 休みのあいだずっと学校にのこることにしたのか？」

マーティンはうなずくと、手のこうで涙をぬぐう。

「ご両親が、きみに帰ってくるなど、おっしゃったのかい？」

「いえ、帰ってきてほしいといっています」

「では、きみが帰りたくないのか？」

「いえ、ぼくだって帰りたいです」

「どういうことだ？ わけがわからないな」

② 正義先生はつい大声をあげてしまった。

「ご両親はきみに帰ってきてほしい。きみも帰りたい。それなのに、ここにのこるといふ……。いったいなにがあったんだい？」

「できればいいたくありません、先生」と、マーティンはいった。「もう、行ってもいいですか？」

背をむけて走りさろうとするマーティンを、正義先生はしっかりとつかんでひきとめた。

「まちなさい！」

それから先生はかがみこんで、まるで、木にさえもきかれてはならないというふうに、声をひそめて少年にたずねた。

「もしかして、きつぷ代がないのかい？」

そういわれて、マーティンは、もうこらえきれなくなってしまった。こくりとうなずくと、雪にうもれたボウリング場の手すりに頭をお

しつけ、大声をあげて泣きだしたのだ。かなしみに首ねっこをつかまれて、何度もはげしくゆさぶられているようだった。

正義先生は、ことばをうしなつて、マーティンのそばにじっと立っていた。^③こんなときは、せっかちになくさめのことばなどかけてはいけないと知っていたからだ。やがて先生はハンカチを取りだし、マーティンの顔をふいてやった。

「そうか、そうだったのか」

正義先生も、もうすこしで泣きそうになった。胸がしめつけられ、^④何度か強くせきばらいをしなければならなかったほどだ。

「それで、きつぷ代はいくらかかるんだね？」

「八マルク（四千元）です」

正義先生はポケットからさいふを出すと、なかからお札を一枚取りだした。

「ここに二十マルク（一万円）ある。これで行って帰ってこられるだろう」

^⑤マーティンはぼうぜんとお金をみつめた。でも、すぐに、首をはげしく横にふる。

「いいえ、それはいけません、先生」

正義先生は、お札を、少年の上着ポケットにいそいでつつこんだ。

「いいからいうことをきくん、このいじっぱり」

「でも、ぼく、五マルク（二千五百円）はあるんです」

マーティンが口ごもった。

「ご両親になにもプレゼントをしないつもりか？」

「できればしたいですけど……」

「そうだと、正義先生。」

マーティンは、どうしようかとしばらくなやんでいたが、やっと口をひらいた。

「ほんとうに、ほんとうにありがとうございます、先生。でも、うちの親は、先生にいつお金をお返しできるかわかりません。父さんは仕事がないんです。ぼく、復活祭（注）の休みには、できれば五年生のだれかの家庭教師をしようと思ってるんで、それまで待っていただけますか？」

「いいからだまりなさい」正義先生はきびしい声でいった。「クリスマスのおくりものだ。それを返すだなんて、とんでもない！ わたしをこまらせないでくれ」

⑥ マーティンはその場に立ちつくしてしまった。なんとお礼をいっていいのか、わからなかったのだ。ようやく、ためらいがちに手をのばすと、そつと先生の手をにぎりしめた。

(エーリヒ・ケストナー 作／那須田淳、木本栄 訳『飛ぶ教室』による)

(注) 復活祭…キリスト教会で、イエス＝キリストの復活を祝うため、春分後の満月直後の日曜日に行う祭事。イースター。

問一 波線部 a・b の語句の意味として適当なものを次の中から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

a 身が入る				
オ	エ	ウ	イ	ア
熱中する	変身する	食事する	侵入する	活躍する
b ことばをうしなう				
オ	エ	ウ	イ	ア
おどろく	失神する	考え込む	絶句する	おそれる

問二 二重傍線部「べつのこと」「ほかのこと」とありますが、それはどのようなことですか。二十字以内で答えなさい。

問三 傍線部①「マーティンがぐつと歯を食いしばると、それ以上はこぼれ落ちなかった」とありますが、このときの状況を説明したものとしてもっとも適当なものを、次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア ふれてほしくなかったことを聞かれ、あまりのはずかしさに涙を流してしまったものの、ふんばるることにより開き直った。
- イ ふれてほしくなかったことを何度も聞かれて動揺し、涙を流してしまったものの、泣き虫と思われたくなくてごまかした。
- ウ ふれてほしくなかったことを聞かれて怒りがこみあげ、悔し涙を流してしまったものの、その気持ちをなんとかおさえた。
- エ ふれてほしくなかったことを聞かれ、不意に涙を流してしまったものの、その辛そうにする姿をもう見せまいとこらえた。
- オ ふれてほしくなかったことについて問いつめられ、怖くて涙を流してしまったものの、自分を奮い立たせて持ちこたえた。

問四 傍線部②「正義先生はつい大声をあげてしまった」とありますが、そうしたのはなぜですか。もっとも適当なものを、次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 相手の考えていることが理解できないもどかしさから、感情がたかぶってしまったため。
- イ 相手の声が小さくて聞き取りづらかったため、もっと大きな声を出させようとしたため。
- ウ 相手が隠しごとを明らかにしようとしないので、おどして正直に言わせようとしたため。
- エ 相手があやふやな答えを繰り返すので、そのあいまいな態度に怒りがこみあげてきたため。
- オ 相手の言うことをわからないのが自分のせいだと思われるようで、不愉快だったため。

問五 傍線部③「こんなとき」とありますが、それはどのようなときですか。二十字以内で答えなさい。

問六 傍線部④「何度か強くせきばらいをしなければならなかった」とありますが、それはなぜですか。もつとも適当なものを、次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 相手を問いつめて聞き出したことが、自分の胸をつぶしてしまう内容であったため、息がつまりそうになったから。
イ 相手が触れてほしくなかったことを何度も聞いてしまった自分を強く恥^はじていたので、話をそらそうと思ったから。
ウ 相手の悲しむ姿を見ているうちに自分も悲しくなったが、話をするためにもその感情を振り^ふ払い^{はら}う必要があったから。
エ 相手の泣く姿を見て同情してしまっただが、そのような必要はないと考えなおし、気持ちを切りかえようとしたから。
オ 相手といっしょに途^と方^{ほう}に暮^もれていても仕方がないと考え、解決策を考えるために正気を取り戻^{もど}す必要があったから。

問七 傍線部⑤「マーティンはぼうぜんとお金をみつめた。でも、すぐに、首をはげしく横にふる」とありますが、このときの状況を説明したものとして、もつとも適当なものを、次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 差し出されたお金をみてすぐに断ろうとしたものの、なかなか声が出なかつたので首をふって断つた。
イ 差し出されたお金をみて、はじめその意味が理解できなかつたが、すぐに理解して受け取りを断つた。
ウ 差し出されたお金をみて少し考え、受け取ろうという気になつたが、思いとどまって仕方なく断つた。
エ 差し出されたお金をみて、それが十分なお金かどうかを考えたが、もらうてはいけな^いと思^い断つた。
オ 差し出されたお金をみてうれしくなつたものの、受け取ってしまったら返すのが難しいと考え断つた。

問八 傍線部⑥「ようやく、ためらいがちに手をのばすと、そつと先生の手をにぎりしめた」とありますが、この一連の行^{こう}為^いからはマーティンのどういう気持ちを読み取れますか。三十字以上四十字以内で説明しなさい。

問九 本文の内容についての説明としてふさわしいものを、次の中から二つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 一人の登場人物の視点から場面を描くことで、物語世界に臨場感を与えている。
- イ 場面や登場人物の心情を描写するにあたって、擬人法を効果的に使用している。
- ウ 現在と過去の出来事を交互に描写することで、物語世界に奥行きを与えている。
- エ 「……」を用いて省略を繰り返して行うことで、話が円滑に進むようにしている。
- オ 情景の描写を登場人物の心情と重ねることで、場面の雰囲気を作り上げている。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「勉強」の原動力も、最初はもっと知りたい、できるようになりたいであり、できるようになって嬉しい、楽しいということだったのです。こうなってくると勉強は楽しくなり、そうすれば、ますますできるようになってまた楽しくなってくる、といういいことづくめのお話になるのです。

では、① 楽しかったはずの勉強がなぜ今は楽しくなくなってしまったのでしょうか。もしかして、小学校の頃、先生の言うことを聞かずに宿題をサボったのでわからなくなっちゃったからだとか、自分の頭が悪いせいだとか思う人がいるかもしれません。最初の理由はちよつとあたっていることがあるかもしれませんが。新しいことを覚えたりできるようになったりするためには「経験（練習）」を重ねることが必要です。でも、② 二つめは全然違います。なぜかという、これも「食べる」から考えるとわかります。おいしい料理や好きなメニューは楽しく食べられるけれど、そうでないと食べることが楽しくなくなってしまうでしょ。例えば魚や野菜、肉といった一つ一つの食材にはそれぞれ匂いや味の特徴があります。調理のプロは、食材の組み合わせや調理の仕方を工夫して、食材のいいところを引き立たせ、一方で I 欠点を補って個性豊かなおいしい料理に仕上げていきます。キャベツという野菜一つとっても、お好み焼き用とトンカツに添える千切りキャベツではキャベツの種類も切り方も変えるのです。これが調理の工夫です。どんなに新鮮な食材を使ったとしても、その食材の特徴をよく理解し、さらに食べる人の事情にあった調理ができていなければ、おいしいという実感を与えることはできません。中学生が学ぶ教科の内容をどのように整理して生徒に示すのか、どのような活動を通して理解に結びつけていくのか、授業をする先生はそのことを考えて計

画を立て準備をして授業に臨んで^{のぞ}います。調理のプロが食べる人によって調理の仕方を工夫するように、先生もクラスの雰囲気によって教材や方法を工夫して授業に臨みます。授業とは、^④学ぼうとする生徒とわかりやすく教えようとする先生の両方の共同作業なのです。(中略)

a それからもう一つ、^bせつかくおいしい料理が出て、それを食べるときに^cどれだけ早く食べたかやどれだけ^dたくさん食べたかで人と比べられて、エライとかダメとか^eいちいち言われていたら食べるのがイヤになってしまいます。勉強の場合もそれと同じです。勉強の仕方が自分にあっているかどうかはもちろん、「早く正確に」だけで誰か^{だれ}と比べられてダメ出しをされていたらきつとイヤになってしまいます。面白かった勉強が面白くなってしまいうワケが、なんとなくわかっていただけでしたか。学ぶということは本来いっぱい間違いをしながら、経験(練習)を重ねて身につけていくことなのに、学校の先生やお父さんお母さんたち大人の中には、少しでも早くムダなくたくさんのことを身につけてほしい、と考えてしまう人がいるために子どもにもそういう勉強をさせてしまうのです。

「知りたい」「聞きたい」「見たい」という勉強好きだった^⑤小さい頃は、自分のペースでゆっくりと学ぶことができたのに、今はそれができなくなっている。そのことで自分は勉強が^Ⅱ苦手だ、学ぶことが嫌いだと勘違い^{かんご}してしまっているのかもしれない。だから今勉強が嫌いだと思っている人だって、自分にあつた条件さえ整えば必ず面白く学べるし必ずできるようになります。誰かのやり方やペースと比べたり誰かにあわせたりするのではなく、^Ⅲ失敗しても気にしないで、自分にあつたやり方とペースで、できるようになるまでトライしていくことが大切なのです。そうすれば、わかった、できたという実感が持てます。そして、「できたね!」「がんばったね!」って誰かに声をかけてもらうことができれば、ちょっと嬉しくなって自信につながります。そうなると学ぶことが面白くなって練習することが楽しくなつてきます。知識や技術が身につけてくると自分にあつた学び方や練習の仕方でも工夫できるようになります。どうです。いいでしょう。

「ボクが今興味を持っていることはあるけれど、それでは大人は誰もほめてくれない。やっぱり学校の勉強でなくちゃ」という声が聞こえてきそうです。確かに学校の教科の勉強以外だと、いくらできるようになつても、それだけではほめてもらえないということはあります。だつたら、学校の勉強も「自分にあつたやり方」で「自分のペース」に乗つけちゃいましょう。自分にあつたやり方で勉強すれば誰でも必ずわかるようにできるようになる。そう聞けば、その「自分にあつた方法は何か」を知りたくくなりますね。^⑥でも残念ながら全員に共通の「これだ」というものを示すことはできません。一人ひとり違うからです。だから自分なりの「これだ」に気づいて勉強のペースをつくる方法を見つけていくことが必要です。ここでは次のことだけをしつかり押さえておきたいと思えます。それは、学校の勉強がわからないのは自分がダメだからじゃない。勉強が楽しくないのは自分がダメだからじゃない。だから「どうせボクなんか」^⑦って決めつけたりしないこと。そして、できなかったことができるようになり、勉強が面白くなつていく^⑧道は誰にでもあること。ダメな子なんて一人もいないんです。

(宮下聡『中学生になったら』による)

問一 波線部Ⅰ「欠点」・Ⅱ「苦手」・Ⅲ「失敗」の語句の反対の意味の言葉をそれぞれ漢字二字で書きなさい。

問二 傍線部①「楽しかったはずの勉強がなぜ今は楽しくなくなってしまった」とありますが、その理由として考えられるもっとも適当なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

- ア もっと知りたい、できるようになりたいと思わなくなったから。
- イ 自分の学習の成果を絶対にほめてもらえないから。
- ウ 経験(練習)を重ねることが必要でなくなったから。
- エ 学習をだれかと比べられてイヤになってしまったから。
- オ 自分に合った学習の仕方では勉強できないから。

問三 傍線部②「二つめ」とは何をさしていますか。本文中の言葉を使って、十字で抜き出さない。

問四 傍線部③の「教材」「方法」、傍線部④の「生徒」「先生」は「食べる」に当てはめるとそれぞれ何に当たりますか。「教材」を本文中の漢字二字で、「方法」「生徒」「先生」は五字以内でそれぞれ抜き出さない。

問五 傍線部⑤に「小さい頃は、自分のペースでゆっくりと学ぶことができたのに、今はそれができなくなっている」とありますが、そうなった理由を本文中の言葉を使って、六十字以内で答えなさい。

問六 傍線部⑥「でも残念ながら全員に共通の『これだ』というものを示すことはできません」とありますが、その理由を「食べる」の例に当てはめた場合にもっとも適当なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

- ア 食べる人によっておいしい食材は異なり、調理そのものはとても難しいから。
- イ 食べる人の事情はそれぞれ違うので、それに合う調理の仕方が必要だから。
- ウ 食べる人は調理する人の違いによって、食材の特徴を理解できなくなるから。
- エ 食べる人を考えて調理するのは難しく、結局調理する人に任せるしかないから。
- オ 食べる人によって受け止め方が異なるので、完璧な調理かんぺきをすることは不可能だから。

問七 傍線部⑦「道」に当てはまらないものを次のア～カから二つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 知識
- イ やり方
- ウ ペース
- エ 思想
- オ 方法
- カ 取り組み

問八 傍線部⑧「ダメな子なんて一人もない」のはどうしてですか。四十字以内で答えなさい。ただし、「自分」「方法」「勉強」の三つの言葉を使いなさい。

問九 本文の内容に合うものとしてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 勉強ができない人は、勉強が楽しくなり、できるようになりたいとも思うことはない。
- イ 先生の言うことを聞かず、宿題をサボることが勉強のできない一番の理由である。
- ウ 学ぶということは本来いっぱい間違いをして、それが経験となり身につくものである。
- エ 学習では「できたね!」「がんばったね!」とほめ続けられないと自信がつかない。
- オ 知識や技術を身につけることさえできれば、勉強ができるようになる。

問十 二重傍線部 a～e の言葉の中で、一つだけ異なる種類、働きのものがあります。その言葉を一つ選んで、記号で答えなさい。

三

次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① ドヒヨウに上がった力士に声援を送る。
- ② 月曜日に発売されるシユウカン誌を読む。
- ③ 曲のヘンシユウ作業に追われる。
- ④ サイシンの注意を払って問題を解く。
お経をトナえる。
- ⑤

[問題はここまでです。]





